

時事新報

を始め各府縣に通信

各府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を壊塞するより名社同一の記事を掲ぐるふと寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずど雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信する方多きが如し爲めに行違いを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向ひ發送あらんとを請ふ

# 官民の交際に就て

て俱樂部の如きものを設け朝野の紳士政客等をして時々に相會して以て互に談笑詭諑するの機會を得せし時に爰に其計畫を爲す者あるよし時節柄、至極よしめんとて竊に其計劃をして我輩の飽くまでも賛成する所なれども切に思附にして考ふれば政府の當路者にして愈よ廣く民間の人々に交を求めるの決心ならんには今更ら新に俱樂部の

け官邊以外に身を露はし民間の人々を訪問し又ふれを招待し自由自在に往来し自由自在に交るみと官民和合の捷徑なれど我輩の特に注意を促す所なり今の當路者は民情に明ならずと云ふ或は左る事情もある可し前途の小天地に閉籠りて之に近づく者は政府部内の幕下のみ其聞く所は何時も替らぬ談柄と繰返すに過ぎず社會全般の形勢に通せざるも固より其所なり例へば本期

顛したるを見ても思當るとある可し或は稀に政府の上流に舞落の士わりて社會の交際を廣くせんと欲するも部内の有様は恰も一種の御殿風にして人の自由を許さず何某は昨日某氏を訪問したり今夕は何邸に小集を催すと云ふ果して何事ならん云々とて先づ疑を起し、疑心一轉して不平と爲り再轉して嫉妬と爲り遂には積りへて一身の進退にまで關係するひとなきに非されば豪落の男子も端なく御殿女中を學んで萬事輕にするの外なし氣の毒千萬なりと云ふ可し然るに此用子が公然人に接するときは例の殿様にして眼下に物を貰ふ長少智愚を問はず唯政府の役人なるが故に常に人の上流に就かんとし冠婚葬祭花鳥風月の會に於にして學者を宋座に駕かしむるの奇談され珍らしからず斯る次第なれば官と民とは自から別世界にして近年に至りては石野の士人も既に官邊を見限り果ても進く

スラグハ

で之に近づくの念なきのみか彼れより来るも之を近づくるを好まず唯他をして小天地の自尊自大に一任して獨り自から得々たらしむるのみなりと云ふ時勢の變遷とは申しながら官民の關係甚だ妙ならざるものなれば此處は當局者に於ても一考して然る可しと我輩の信する所なり左れば此時勢のまゝにして百所の俱樂部を設け千回の懇親會を開くも人民は單に官吏の陪席相伴たるに過ぎず之を甘んずる者は官の傲慢無禮を知りながら暫く之を忍び云はゞ之を愚弄する間に竊に自から利せんとする者なれども獨立の君子は利の爲めに屈するふどを爲さず益々政府に遠ざかりて自から全ふするの道をみそ求む可ければ彼の俱樂部なり懇親會なり政府の人をして先づ年來の非を改め其心の底より人間交際の禮儀を合點せしむるに非ざれば之を金でし却て有害無益なる可し我輩は其事の未だ起らざるに先だち敢て一言して當局者の注意を促す者なり

○秘密取調　府下各警察署にては何故か近日來壯士體の者の往来又は各地方より上京する向に對し殊に精細に注意し戸籍身分職業等とも密に取調べ居るよし

○有志者縣知事を訪ふ　神奈川縣下に於て今回縣會議員總選舉に際し高座郡長は選舉に干涉し爲めに法律違犯の投票多さを發見せりとて同郡の有志者は大に激昂し有志者總代數名は去る四日神奈川縣廳に出頭し知事に面會を請ひしも當日は知事書記官とも參屬なかりしを以て第一課長矢野湛氏に面會し選舉上に關する諸種の談話を爲したりと

○村長候補者の競争　神奈川縣久良岐郡戸太村の村長は本年四月改選期に付從前の村長川本多七氏と新候補者志村義路氏の間に非常の競争を爲し居れり志村氏は太田郡内に勢力あり川本氏は戸部郡内に勢力ありと云へば勝敗豫め期し難しあと云ふ

○神奈川縣會　今回の總選舉により神奈川縣會議

○西班牙學協  
四日午後二時より  
氏外十餘名出席し  
して西班牙語に熟  
頃まで研究せしがて當  
○美濃丸の歸  
横濱を出帆せし日  
りしも西南の風烈  
さるより同所より  
○酒田丸の香  
向け本邦出稼人を  
香港まで歸港しな  
○新捕鯨船  
捕鯨船ナオールは  
一氏は之が代船と  
中心丸八十六噸  
ルの網具を用ひ再  
○漂流人の來

員は多く再選となりしか愈よ來る十五日頃縣會を開き役員を撰舉すると云ふ

ば多分今回の大選舉に於ては同氏が當選すべしと云ふ  
○地主派の慰勞會 横濱市會議員半數改選に全  
勝を得たる地主派に於ては去る四日同市港座に於て撰  
舉人七百餘名を招待し慰勞會を開き餘興として種々の  
催しもあり散會せしは十時頃なりしと  
○運動費割宛の苦情 去月横濱市會議員選舉の  
際兩派とも非常の運動費を要し平沼氏は五六千圓も負

擇する筈なりしが其後運動費精算に際し平沼氏は之を當撰者に割宛たるより中には不同意を唱ふる人もありて目下苦情中なりと云ふ

際し高座郡は競争最も甚しかりし由なるが同郡千賀崎  
村飯田彌助氏は同村岡崎龜吉、石井喜助、篠田彦四郎、  
大森種吉、石田松五郎、坂巻久右衛門の五氏が議員候補  
者長谷川彦八、大嶋正壽、志村大輔、金子小左衛門の四  
氏、（吉野）又是よりして士人事實（はじめん）にて云々

由より賄賂を取り扱出せんとせし事實を發見し去月廿九日横濱地方裁判所に告訴したるを以て去る四日午前九時より同所に於て原被兩造を召喚し第一回對審を開きたり

府一縣に於ける米商仲買人發起となり京都河原町の共樂館に於て去る二日實業家の一大懇親會を開きしに會する者二百五十餘名席定まるや發起人總代として京都米商會所重役井上德七郎氏開會の旨趣と述べ更に來會者の祝辭并に席上演説等ありて二府一縣の圓滑を謀る

○行軍演習　近衛歩兵第三聯隊第七中隊は明八日  
東京出發神奈川縣溝口村及び川崎村へ二泊行軍、同八  
べしとの協議を爲し京坂津の藝妓を購する等盛會を極  
たりと云ふ

中隊は同日同順登戸村及下池上村一二泊行軍何れも空包援火演習を執行するよし

(以上計迄) ●初晴後(下り) 午前七時二十分(晴兼四時半) 一時四十分  
(晴兼) 午後三時四十七分(晴兼) 一時四十四分(青葉花) ○(上)  
午前二時廿五分六時四十分(十時二十分以十時花) 午後二時三十八分  
(白蘭花) ●仙鶴(下り) 午前二時四十分六時四十分(以上青葉花) 午後

一時五十五分(盛岡迄)○  
十一時四十八分(白  
河迄)午前八時五十分、午後  
十五分(白河迄)午後一時半  
下り)午前五時五十分  
午後九時二十分(仙  
台迄)午後十時半